

2014年6月
No.14-081a(本)※1

「ジストロフィン遺伝子変異解析《MLPA法》」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の検査委託先より、測定試薬を同一メーカーが販売する改良試薬に変更する旨の連絡がございましたので、取り急ぎご案内致します。改良試薬ではより安定した検査結果が得られるよう、新たなリファレンス領域が追加され、プローブが改良されています。

なお、この変更に伴い、別紙報告書の記載内容につきましても別掲の通り変更致します。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

頁	項目コード	検査項目名
105	4991	ジストロフィン遺伝子解析《MLPA法》

※検体量・検査方法・所要日数等の検査要項に変更はございません。

■変更期日

2014年6月16日(月)受付日分より

以上

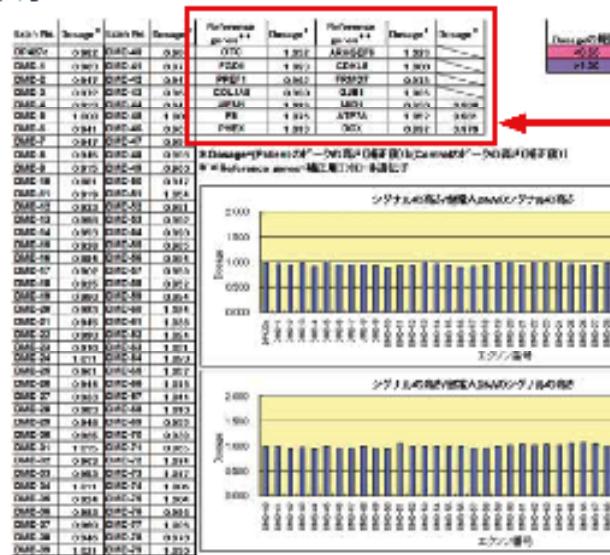
■(新)MLPA法検査報告書



MLPA法検査報告書

施設名	MCM遺伝子分析研究部	報告日	年月日
氏名	テルホ	受付日	2014年3月29日
料番		機種	Nano
性別	女性	試験日	03/29/2014
年齢	4歳	検査ID	1403-1312
性別	男	性別	男
年齢	30才	性別	女
担当責任者	田村 聰	検査者	島津 光伸
検査項目	ジストロフィン遺伝子分析	検査者	島津 光伸

【検査結果】



上記エクソンにおいて、重複および欠失は認められませんでした。

本検査はNanogen社製 MLPA(Multiplex Ligation-dependent Probe Amplification) Kit P044/PG03: UND/User's各配用して実施いたしました。本キットの特徴上、数箇基レベルの微細な変異は検出できません。また、軟骨デカルミン剤が併用されています。

- 【参考文献】
 - 1. Lee van Riel et al. Nucleic Acids Res. 30(1): 29-35, 2002.
 - 2. Dantzer V et al. Clin Biochem. 11(1-2): 39-43, 2002.
 - 3. Schwartz M et al. Genet Test. 04: 361-377, 2004.
 - 4. Lal KK et al. Clin Biochem. 29(4): 337-342, 2006.

【方法】

